



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日
東

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所
コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 新井田 傳
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|--------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 19,910 | 3.5 | △202 | - | △220 | - | △87 | - |
| 2023年3月期第3四半期 | 19,231 | 0.2 | △1,119 | - | △803 | - | △1,633 | - |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △75百万円(-%) 2023年3月期第3四半期 △1,632百万円(-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | △5.64 | - |
| 2023年3月期第3四半期 | △108.57 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 10,456 | 1,446 | 13.8 |
| 2023年3月期 | 10,796 | 865 | 7.7 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,441百万円 2023年3月期 836百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2024年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2024年3月期(予想) | - | - | - | - | - |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 26,500 | 4.1 | 50 | - | △150 | - | △150 | - | △9.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期3Q | 17,443,841株 | 2023年3月期 | 16,774,841株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 1,722,999株 | 2023年3月期 | 1,722,859株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期3Q | 15,426,529株 | 2023年3月期3Q | 15,048,183株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |
| 3. その他 | 9 |
| (1) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)における我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染法上分類が5類に移行したことによる経済活動の正常化を背景に、個人消費の回復や外国人観光客の増加をはじめとする観光需要増加により景気は緩やかに回復しております。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、イスラエル・パレスチナ問題など不安定な国際情勢や、日米金利差による円安の常態化によりエネルギー価格や原材料価格の高騰に伴う物価上昇の長期化による個人消費の冷え込みが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、外出を伴う各種催事の復活など経済活動の正常化による人流回復に伴い来店客数は回復傾向にあります。しかしながら、長期化する原材料費、光熱費、物流費の高止まり、人手不足による人件費関連コストの上昇など、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループでは経営方針として「原点回帰」を掲げ、「外食の原点である魅力のある商品作りとメニューの絞り込み」「全店舗のQSC立て直し」「安全安心な食事環境の提供」を重点課題として取り組んでまいりました。

10月にグランドメニュー改定を実施し、一部商品の値下げを実施しました。また、これまで一部の麺類とギョーザ又はチャーハンのセットメニューを提供してまいりましたが、10月より全ての麺類とギョーザ又はチャーハンにセットメニューとすることでお客様の選択の幅を広げる取り組みを行いました。SNSなどを活用したデジタルマーケティング強化により、値下げや福袋販売予約が話題となりテレビ番組、ネットニュース等のメディアで取り上げられる機会が増加しました。これらの取り組みにより当第3四半期連結会計期間における売上高及び客数は前年比増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は19,910百万円(前年同期比3.5%増)、営業損失202百万円(前年同期は営業損失1,119百万円)、経常損失220百万円(前年同期は経常損失803百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は87百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,633百万円)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、404店舗(前年同期比29店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

ラーメン事業においては、10月にグランドメニュー改定を行い定番メニューのプライスライン絞り込み及びセットメニュー強化を進めるとともに、「野菜たんめん」の野菜比率見直し、「月見らーめん」「ガリバタ醤油らーめん」「スタミナらーめん」「ジャージャー麺」「ごま味噌らーめん」「もつらーめん」「ざるらーめん」「ゆず塩らーめん」合計8種類の期間限定商品を随時投入しました。11月には元旦以降に販売する福袋の予約受付を行いました。販売予定全数が予約で完売となるなどお客様に好評をいただきました。

店舗展開は、採算性を重視し不採算店舗の撤退を行いました。その結果、店舗数は、直営店364店舗(前年同期比22店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」358店舗、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」6店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は18,015百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(洋和食業態の店舗展開)を行っております。

フランチャイズ事業は、店舗数は19店舗(国内12店舗、海外7店舗)となりました。その他外食事業は、「焼肉ライク」直営店8店舗、「焼肉食堂まんぷく」直営店1店舗、「からやま」直営店7店舗、「赤から」直営店4店舗、「餃子の味よし」1店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は1,894百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて805百万円増加し、3,215百万円となりました。これは、現金及び預金が570百万円、売掛金が128百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,146百万円減少し、7,241百万円となりました。これは、建物及び構築物が446百万円、土地が293百万円、リース資産が241百万円、投資その他の資産「その他」に含まれる保険積立金が114百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて340百万円減少し、10,456百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて397百万円減少し、6,183百万円となりました。これは、買掛金が217百万円、未払費用が121百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が589百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて523百万円減少し、2,826百万円となりました。これは、長期借入金が196百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が178百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて920百万円減少し、9,010百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ580百万円増加し、1,446百万円となりました。これは、資本金が340百万円、資本剰余金が340百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想は、2023年11月10日公表の連結業績予想から変更はございません。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,285,220 | 1,855,498 |
| 売掛金 | 551,142 | 679,522 |
| 棚卸資産 | 268,806 | 363,427 |
| その他 | 304,428 | 317,049 |
| 流動資産合計 | 2,409,597 | 3,215,497 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,511,401 | 3,064,474 |
| 土地 | 1,363,012 | 1,069,901 |
| リース資産(純額) | 1,224,841 | 983,467 |
| その他(純額) | 287,943 | 318,283 |
| 有形固定資産合計 | 6,387,200 | 5,436,127 |
| 無形固定資産 | 140,366 | 128,334 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 1,458,883 | 1,421,655 |
| その他 | 402,195 | 255,056 |
| 貸倒引当金 | △1,380 | - |
| 投資その他の資産合計 | 1,859,699 | 1,676,712 |
| 固定資産合計 | 8,387,266 | 7,241,175 |
| 資産合計 | 10,796,864 | 10,456,672 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 782,676 | 1,000,205 |
| 短期借入金 | 2,300,000 | 2,300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,058,778 | 469,705 |
| 未払費用 | 1,007,518 | 1,129,455 |
| 未払法人税等 | 40,503 | 46,249 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 19,518 | 8,025 |
| 転貸損失引当金 | 4,261 | 3,137 |
| その他 | 1,367,696 | 1,227,011 |
| 流動負債合計 | 6,580,953 | 6,183,790 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,356,678 | 1,160,000 |
| 退職給付に係る負債 | 203,124 | 193,984 |
| 転貸損失引当金 | 8,220 | 5,229 |
| 資産除去債務 | 882,339 | 849,477 |
| 役員株式給付引当金 | 12,330 | - |
| その他 | 887,933 | 618,175 |
| 固定負債合計 | 3,350,625 | 2,826,867 |
| 負債合計 | 9,931,578 | 9,010,657 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,988,273 | 3,328,459 |
| 資本剰余金 | 3,084,013 | 3,424,200 |
| 利益剰余金 | △2,886,144 | △2,973,155 |
| 自己株式 | △2,383,218 | △2,383,370 |
| 株主資本合計 | 802,923 | 1,396,133 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,265 | 5,015 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 31,446 | 40,351 |
| その他の包括利益累計額合計 | 33,711 | 45,367 |
| 新株予約権 | 28,650 | 4,513 |
| 非支配株主持分 | - | - |
| 純資産合計 | 865,285 | 1,446,014 |
| 負債純資産合計 | 10,796,864 | 10,456,672 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 19,231,762 | 19,910,045 |
| 売上原価 | 5,265,943 | 5,761,229 |
| 売上総利益 | 13,965,818 | 14,148,816 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,085,515 | 14,351,739 |
| 営業損失(△) | △1,119,697 | △202,923 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,445 | 1,133 |
| 固定資産賃貸料 | 125,457 | 103,401 |
| 新型コロナウイルス感染症による助成金 | 342,863 | - |
| その他 | 84,532 | 84,516 |
| 営業外収益合計 | 554,298 | 189,051 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 49,177 | 64,919 |
| 固定資産賃貸費用 | 112,957 | 92,608 |
| その他 | 76,223 | 49,582 |
| 営業外費用合計 | 238,358 | 207,111 |
| 経常損失(△) | △803,756 | △220,983 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 500 | 208,118 |
| 賃貸不動産売却益 | 29,749 | - |
| その他 | 45,201 | 88,151 |
| 特別利益合計 | 75,451 | 296,270 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 156,268 | 100,595 |
| 店舗閉鎖損失 | 4,507 | 42,341 |
| その他 | 36,121 | 39,330 |
| 特別損失合計 | 196,897 | 182,267 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △925,202 | △106,981 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 33,970 | 33,410 |
| 法人税等調整額 | 674,624 | △53,380 |
| 法人税等合計 | 708,594 | △19,970 |
| 四半期純損失(△) | △1,633,797 | △87,010 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △1,633,797 | △87,010 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純損失(△) | △1,633,797 | △87,010 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,046 | 2,750 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,901 | 8,905 |
| その他の包括利益合計 | 854 | 11,655 |
| 四半期包括利益 | △1,632,942 | △75,354 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,632,942 | △75,354 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等

経済活動の正常化を背景にした人流回復、新メニュー投入による顧客への来店訴求等営業施策により、当第3四半期連結会計期間の既存店ベース客数は前年同期比105%となっております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高、営業利益ともに前年同期を上回っております。しかしながら、7月までの売上回復の遅れ、継続する原材料費、光熱費、物流費の高騰、人手不足による人件費関連コストの上昇により当第3四半期連結累計期間において継続して営業損失を計上しております。

この結果、営業損失が継続するとともに、当第3四半期連結会計期間末の流動負債6,183百万円は流動資産3,215百万円を大きく上回っていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況に対して、定期的な新メニューの投入及びデジタルマーケティングによる来店訴求強化、全店舗のQSC改善による顧客満足度向上、不採算店舗の退店による赤字削減、経費コントロールによるローコストオペレーション推進等により当第3四半期連結会計期間は第2四半期連結会計期間に続き営業黒字となりました。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

(2) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

| 品目 | 前第3四半期 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日 | | 当第3四半期 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日 | | (参考) 前期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 | |
|-----------|--|-------|--|-------|--|-------|
| | 売上高 | 百分比 | 売上高 | 百分比 | 売上高 | 百分比 |
| 直営店売上 | | % | | % | | % |
| らーめん類 | 10,217,586 | 53.1 | 9,065,928 | 45.5 | 13,401,015 | 52.6 |
| セット類 | 3,687,404 | 19.2 | 5,922,493 | 29.8 | 4,938,893 | 19.4 |
| ギョーザ | 1,158,809 | 6.0 | 913,264 | 4.6 | 1,503,486 | 5.9 |
| ごはん類 | 793,978 | 4.1 | 564,378 | 2.8 | 1,027,910 | 4.0 |
| ドリンク類 | 344,059 | 1.8 | 435,848 | 2.2 | 461,625 | 1.8 |
| 洋・和食類 | 1,149,668 | 6.0 | 1,067,058 | 5.4 | 1,527,310 | 6.0 |
| その他 | 1,480,402 | 7.7 | 1,567,370 | 7.9 | 2,057,806 | 8.1 |
| 計 | 18,831,909 | 97.9 | 19,536,342 | 98.2 | 24,918,049 | 97.8 |
| F C店等材料売上 | 360,415 | 1.9 | 297,438 | 1.5 | 492,157 | 1.9 |
| ロイヤリティ収入 | 30,635 | 0.2 | 48,790 | 0.2 | 41,054 | 0.2 |
| その他 | 8,802 | 0.0 | 27,472 | 0.1 | 10,591 | 0.1 |
| 合計 | 19,231,762 | 100.0 | 19,910,045 | 100.0 | 25,461,852 | 100.0 |

- (注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

| 地域別 | 前第3四半期 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日 | | | 当第3四半期 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日 | | | (参考) 前期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 | | |
|-------|--|-------|-------|--|-------|-------|--|-------|-------|
| | 売上高 | 百分比 | 期末店舗数 | 売上高 | 百分比 | 期末店舗数 | 売上高 | 百分比 | 期末店舗数 |
| | | % | 店 | | % | 店 | | % | 店 |
| 東北 | 6,674,990 | 35.4 | 137 | 7,038,334 | 36.0 | 134 | 8,857,201 | 35.5 | 137 |
| 関東 | 9,813,679 | 52.1 | 230 | 10,219,964 | 52.3 | 206 | 12,999,735 | 52.2 | 229 |
| 東海 | 729,261 | 3.9 | 15 | 702,916 | 3.6 | 13 | 966,365 | 3.9 | 15 |
| 北陸甲信越 | 1,327,185 | 7.1 | 31 | 1,282,637 | 6.6 | 29 | 1,708,628 | 6.9 | 30 |
| 関西 | 286,792 | 1.5 | 3 | 292,488 | 1.5 | 3 | 386,119 | 1.5 | 3 |
| 計 | 18,831,909 | 100.0 | 416 | 19,536,342 | 100.0 | 385 | 24,918,049 | 100.0 | 414 |

- (注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。